

# 桐 kiri

目白の森から風便り

目白学園 広報誌  
学校法人 目白学園  
目白大学大学院  
目白大学  
目白大学短期大学部  
目白学園中学校・高等学校

創刊号  
通算99号  
2003.12



Special issue

目白学園 80周年記念

## 変革を恐れず、 進化しつづける目白学園

目白学園80年の軌跡

80周年を迎えて～永年、目白学園を支えてくださった方からのメッセージ

80周年記念イベント

ジェーン・グドール博士講演会／金子みすゞの世界展／アグネス・チャン氏講演会／  
目白学園中学校・高等学校創立80周年記念式典

目白探訪

佐藤重遠記念館

学園インフォメーション

輝く目白の星

## イルカのように もっと速く、もっとしなやかに泳ぎたい

フィンスイミングで世界大会出場 高校2年 青木美子さん

目白学園創立80周年記念

# 変革を恐れず、 進化しつづける目白学園



目白学園は今年、創立80周年を迎えました。

大正12年、目白学園の前身である研心学園の創設以来、

時代の変化とともに、革新的な変革を遂げてきました。

80年という伝統にとらわれることなく、

今後も進化しつづけていく目白学園を、皆さんとともに創造していきます。

## ■目白学園80年の軌跡

大正12年(1923) 佐藤重遠・フユ先生により 東京都新宿区の現在地に 研心学園を創設。 初代理事長に佐藤重遠就任。	昭和9年(1934) 佐藤フユ、 第2代理事長に就任。	昭和19年(1944) 目白女子商業学校を 設置。	昭和23年(1948) 国の学制改革により、 目白女子商業学校は 目白学園高等学校と 目白学園中学校に改組。	昭和30年(1955) 目白学園遺跡 (落合遺跡) 第1次発掘調査完了。	昭和34年(1959) 目白学園幼稚園を開設。	昭和39年(1964) 床次徳二、 第4代理事長に就任。 国語国文科、 生活科学科を開設。	昭和42年(1967) 女子教育 研究所を開設。	昭和50年(1975) 目白学園遺跡 (落合遺跡) 第2次発掘調査完了。	昭和57年(1982) 目白学園遺跡 (落合遺跡) 第3次発掘調査 完了。
昭和4年(1929) 財団法人目白学園設立。 目白商業学校を設置。 佐藤重遠が理事長となる。			昭和26年(1951) 財団法人目白学園を 学校法人目白学園に 組織変更。	昭和31年(1956) 佐藤重遠、 第3代理事長に就任。		昭和38年(1963) 目白学園 女子短期大学を設置し、 英語英文科を開設。			昭和55年(1980) 田邊教行、 第5代理事長に就任。

創立者  
**佐藤 重遠** (1887~1964)

宮崎県延岡市出身。幼名、傳次郎。  
第一高等学校を経て、東京帝国大学法科大学卒業。  
大正12年4月、私財を投じて夫人フユ先生とともに落合の高台に  
研心学園(目白学園の前身)を創設。  
生涯を学園の発展に捧ぐ。  
学校経営に情熱を傾けるかたわら、大正13年より合計4期にわたり  
衆議院議員として国政に携わり、大蔵常任委員長など歴任す。  
昭和38年11月、長年の教育功労によって藍綬褒章を受賞。  
昭和39年1月没。教育功労ならびに国政への功績により  
正五位に叙され、勲三等瑞宝章を授与される。





## 第6代理事長 佐藤 弘毅

### profile

1943年生まれ。  
立教大学社会学部卒業後、  
州立サンフランシスコ大学教育学大学院修士課程修了。  
MA in Education取得。

東京都私立短期大学協会会长  
日本私立短期大学協会副会长  
全国大学実務教育協会副会长  
短期大学基準協会理事  
異文化間教育学会理事ほか

### <著書>

『海外子女教育史』  
『国際教育のためのキーワード』  
『海外子女の教育問題』  
『小さな国際人』  
『短大からコミュニティ・カレッジへ』他

## 学園80周年に想う

大正12年の春、桐ヶ丘と呼ばれたこの高台には、薄紫の桐の花が咲き乱れていたのだろうか。初めての少年達は、どんな希望を抱いて、真新しい校門をくぐったのだろうか。

後に目白学園となる研心学園が呱々の声を上げた。ちょうど80年前のことである。

創立者佐藤重遠先生は、設立趣意書の冒頭で「一國文化の隆昌は教育の力に俟つ」と記し、教育の重要性を説かれた。その上で中等教育の普及が急務であり、自らもその使命を担って学校を興し、国家社会に有為な人

材を育成する決意を述べられている。

その後の学園と先生が辿った道は、思いもよらぬ苦難に満ちたものとなった。わずか半年後の関東大震災、目白商業学校時代の昭和恐慌、太平洋戦争、戦後荒廃からの新制目白学園の再出発、長引く経営難。80年の前半は、まさに先生の身命を賭した努力と、いつ終わるとも知れぬ私財の投入、それに教職員の献身によって支えられていた。

後半の学園は発展期を迎えた。国の経済成長と進学率の急増、それに学校制度の安

定が追い風となった。さらに、短大の実績の上に大学を開いて急速に拡充し、果敢な改革を進めつつあることを、20年目の理事長として私は誇りとする。

いま、80周年に想う。先人の労苦と時代の荒波がこの学園を育ててきたことを、改めて銘記しよう。この後も決して平坦ではない道を、覚悟新たに歩もう。未来を自ら拓く教職員の情熱と知恵を結集しよう。

次代にきちんと評価される私学。そんな学園を導き続けたい。心からそう想う。

昭和59年（1984）  
佐藤弘毅、  
第6代理事長に  
就任。

平成9年（1997）  
目白大学  
留学生別科を開設。

平成12年（2000）  
目白学園幼稚園廃止。目白大学人間社会学部を増設し、  
心理カウンセリング学科、メディア表現学科、社会情報学科を開設。  
心理カウンセリングセンター開設。  
目白大学エクステンションセンター開設。  
目白学園女子短期大学英語英文科と国語国文科を改組転換し、  
言語表現学科に改める。校名を「目白大学短期大学部」に変更。

昭和58年（1983）  
創立60周年式典を  
挙行。

平成11年（1999）  
目白大学大学院国際交流研究科  
(国際交流専攻・言語文化交流専攻)を開設。

平成6年（1994）  
目白大学を設置し、  
人文学部地域文化学科、  
言語文化学科を開設。



平成13年（2001）  
人文学部に  
現代社会学科を開設。

平成14年（2002）  
目白大学経営学部を増設し、経営学科を開設。  
目白大学大学院心理学研究科  
(現代社会心理専攻・臨床心理学専攻)を開設。  
国際教育交流センターを開設。

平成15年（2003）  
目白大学短期大学部に  
子ども学科開設。  
創立80周年を迎える。



## 80周年記念イベント

創立80周年の記念事業の一環として、いくつかのイベントが行われました。各イベントとも、学生、生徒、教職員だけでなく、日頃より学園を愛し、支えてくださる一般のお客様も多数訪れ、大変な好評をいただく結果となりました。今後も、本学園の高い教育理念に沿って、多様なイベントを企画、実施していきたいと思います。

### ジェーン・グドール博士 講演会

平成14年11月20日(水)、靈長類学者であり、国連の平和大使でもある、ジェーン・グドール博士の講演会を開催しました。演題は「チンパンジーとの触れ合いから子育て、自然との共生を考える」。

博士は、タンザニア・ゴンベの森で野生チンパンジーの研究に取り

組み、絶滅からの保護活動を積極的にすすめています。自然環境の大切さを人々に訴え、考えもらうために精力的に活動を続けています。博士の温かい人柄溢れる、そして力強いお話を、会場全体が魅了されました。



### 幻の童話詩人 「金子みすゞの世界」展

平成15年1月11日(土)～18日(土)、新宿キャンパス研心館にて「金子みすゞの世界」展を開催しました。幻の天才作家と呼ばれた金子みすゞの作品には、物や命に対する思いやりと優しさが溢れ、没後70余年を経た現代でも深い感動をもたらしています。貴重な関係資料



の展示や映画上映の他、短期大学部本間玖美子教授や本学学生による詩の群読、児童文学者・童謡詩人であり、金子みすゞを発掘した矢崎節夫氏による特別講演会が行われました。

### アグネス・チャン氏講演会 テーマ「私の会った子どもたち」

平成15年11月14日(金)、本学客員教授である、チャン・メイリン・アグネス先生の講演会が行われました。歌手、教育学博士、日本ユニセフ協会大使、そして母である立場から、ご自分の体験を緒め、解りやすく児童心理について語られました。特に、日本ユニセフ協会大使として訪問したイラクやアフリカの子どもたちの話では、新聞やテレビで報道されている以上の悲惨な状況に、会場からは驚きと悲しみの声があがりました。言葉は通じなくても心は通じる。ジョン・レノンの曲を歌う澄んだ声は会場にいる人たちの心に響きわたりました。



### 目白学園中学校・高等学校 創立80周年記念式典

創立記念日の前日11月10日(月)、中学・高等学校では創立80周年の記念式典が行われました。式典では、佐藤弘毅理事長による講話をはじめ、松本逸也校長からは学園の沿革についての解説がありました。また、卒業生の吉田優子さんは人として大切な3のことについて話されました。同じく卒業生の花柳喜代さんは、日本舞踊・花柳流師匠として日本舞踊を披露してくださいました。



# 目白探訪

## 第1回 佐藤重遠記念館

佐藤重遠記念館は、学園創立60周年の記念事業として新宿キャンパスに建設されました。木立に包まれたファサードの容貌は学園の風景に重厚な色彩を加えています。地上4階・地下2階の館内は記念講堂、図書館、体育館、遺跡資料室など異なる目的をもつ施設の集合体となっており、学内外の教育・文化活動に活用されています。



### ホワイエ

遺跡資料室と記念講堂につながるホワイエ。壁面の陶板壁画「縄文の春」は、自然を大切にする幾千年の昔を振り返り、京都の陶芸家・河合紀氏によって作られました。作品から漂うおおらかな味わいが、訪れるお客様の心を和ませています。



### 目白学園遺跡資料室

新宿キャンパス周辺は旧石器時代からの遺構・遺物が集積する目白学園遺跡（落合遺跡）の主要部に位置し、昭和25年以降、12回以上に及ぶ学術調査が行われています。資料室では、発掘研究の成果を分かりやすく展示しています。



### 竪穴式住居模型

目白学園遺跡では、縄文時代以降、各時代の住居跡が多数確認されています。目白学園遺跡資料室では、弥生時代を代表する遺構として竪穴式住居の復元模型を作製し、当時の生活を理解するための資料として展示しています。



### 新宿図書館

主として大学および大学院のための総合図書館で、記念館1・2階のスペースをゆったりと使って建設されています。蔵書数は約14万冊。個人用ブースを多数設置する閲覧室もあり、パソコンやAV資料も自由に利用することができます。



### 佐藤重遠記念講堂（ホール）

座席数781席の本格的なホールです。舞台前面は太古の昔からの落合の大地を表現した「悠久の調べ」と題する絹帳で飾られています。式典や芸術鑑賞会のほか、年間を通して各種講演会や学会、集会、クラブ活動などに利用されています。



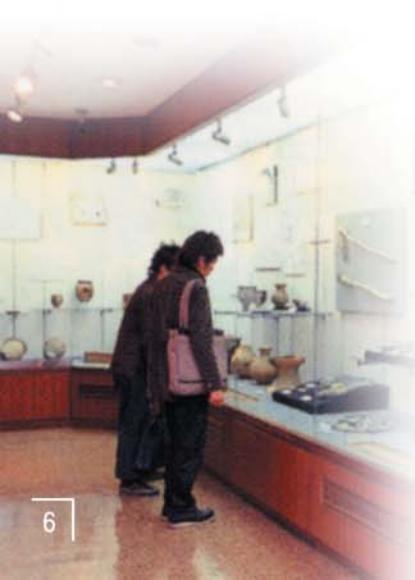
### 第2体育館

地下には冷暖房完備の体育館があります。競技フロアのほかに、ロッカースペースやトレーニングスペース、ソーラーシステムによるシャワーも設置されていて、授業のほか、サークル活動やレクリエーション活動に利用されています。



### 学習室

図書館2階部分に設置された、ガラスで仕切られた学習スペース。明るく開放的なデザインが利用者の好感を呼んでいます。会話が自由にできるため、グループでの予・復習やゼミ活動、研究会のミーティングなどに活用されています。



# 学園インフォメーション

## 中学校・高校

### 2003.4 新学期スタート

今年度より新しく、校長に松本逸也先生、副校長に羽田紘一先生を迎える新体制でスタート。高等学校は昨年に引き続き「スーパーアンダーリッシュランゲージハイスクール」に文部科学省より指定された。

### 2003.7.27 目白学園遺跡フェスタ開催

毎年、夏の恒例行事として行われている遺跡フェスタだが、今年は校舎建築とともに遺跡調査が行われていたため、本物の発掘現場を見学することができた。武蔵大学の富樫先生の講演のほか、遺跡の解説、火起し体験や編巾、勾玉作りなどが行われ、300人を超える参加者が遺跡に触れ楽しんだ。



### 2003.8.10 吹奏楽部 銀賞受賞!!

東京・府中「芸術の森劇場」ウィーンホールで行われた「第43回 東京都高等学校吹奏楽コンクール(東京都高等学校吹奏楽連盟主催)」で、初の銀賞を受賞。

### 2003.8.24 チアリーディング部

#### ジャパンカップ2003 準優勝!!

東京・国立代々木競技場で行われた「全日本選手権大会(ジャパンカップ:日本チア

リーディング協会主催)」高校の部で、チアリーディング部「POLARIS」が、見事準優勝を果たした。同部は6月の全日本選抜の“ベストマナー賞”に続く快挙。



### 2003.9.27・28 第24回桐陽祭開催

テーマは「Love and Peace」。中・高それぞれのスローガンは「愛と平和をこの手でつかもう!」「Feel Love and Peace Today at MEJIRO」。両日でのべ2,000人以上が参加。多彩な内容でたいへんなにぎわいをみせた。

## 大学・短大・大学院

### 2003.4 平成15年度入学式挙行

今年度は岩槻キャンパスで295人、新宿キャンパスで492人、短期大学部で240人の新入生が新たなスタートを切った。

#### 【新宿キャンパス】

### 2003.4 子ども学科スタート

短期大学部では「子ども学科」がスタート。専攻科1年を含む3年課程で、保育士を養成する。

### 2003年度オープンキャンパス開催

7/13、8/17、9/13、12/20の4回にわたりオープンキャンパスを開催。「Enjoy Open Campus!」を合言葉に在学生が直接受験生と触れ合う場を多数設け、「目白大学」をアピールした。



### 2003.11.1~3 桐和祭開催

大学・短大の学園祭「桐和祭」が行われた。テーマは「旬・旬・旬!!—80年目の巻きごろ・食べごろ・魅せどころー」。好天にも恵まれ、のべ8,592人が訪れた。

#### 【岩槻キャンパス】

### 2003.6 大学開学10周年記念

#### 連続講演会

岩槻キャンパスでは、大学開学10周年記念事業の一環として、岩槻市内の公共施設において連続講演を開催。毎回、人文科学部の教員が、自分の専門の分野をテーマに講師を務めた。

### 2003.11.1・2 桐榮祭開催

第10回学園祭「桐榮祭」が行われた。テーマは「～これからも NON STOP～」。地域の方々も多数多く訪れ、とてもにぎわった。

**学園  
トピックス**

## 目白学園広報誌 『桐』創刊!

## “桐”的由来

開学当時、落合の台地は桐が多く自生し桐ヶ丘と呼ばれていました。また、創立者佐藤重遠先生の家紋が桐であったことから目白学園の校章には桐が用いられています。これには桐の字のごとく心を同じくして切磋琢磨し、大きく成長するようにという願いもこめられています。毎年発行していた学園報を1年間お休みし、リニューアル創刊するにあたり、学園の象徴である「桐」をタイトルとしました。とどまるところなく成長しつづける目白学園の姿を、学園関係者の皆さまにお届けしていきたいと思っています。

## 『目白学園不思議空間』

学園のちょっと不思議なモノや場所を紹介します。

- 1 佐藤重遠記念館ホワイエの壁画には、縄文式土器の文様が彫られているところがある。
- 2 春になると新宿キャンパス本館前の池には「おたまじゃくし」が、マンモス級の早さと量で繁殖を始める。
- 3 ミス岩槻は歴代3人も目白大学生が選出されている。

情報  
募集中!

私が見た。私が知っている。そんな目白学園の情報を募集します。採用された方には、オリジナルQUOカードを差し上げます。情報提供のほかにも、「桐」に関するご意見ご感想などのメールをお待ちしております。 E-mail kiri@mejiro.ac.jp

## 入門半年で一躍トップスイマーに

青木美子さんはフィンスイミングの花形選手。17歳以下のユースクラスの日本記録を次々と塗り替え、今年は日本代表選手として国際大会に3回出場しました。

フィンスイミングは足ヒレを使った水中スポーツで、競技種目にはスノーケルを付けて泳ぐサーフィス、50mを無呼吸で泳ぐアブニア、酸素ボンベを使うイマージョン、6kmや20kmの長距離を競うロングディスタンスなど、さまざまあります。

青木さんは1歳の時から泳ぎを始め、小学生時代は競泳を、中学生時代はシンクロナイズドスイミングを本格的に習いました。フィンスイミングとの出会いは中学3年の冬。公開指導会で初体験し、即座にそのスピード感にとりつかれてしまったそうです。

「初めてフィンをつけて泳いだとき、速さでゴーグルが弾き飛んだのです。自分が物凄いスピードで水中を進んでいることに感動しました」

本格的に練習を始めると、半年後にはアブニア(50m)でユースの日本新記録21秒02をマーク。一躍、脚光を浴びるようになりました。彼女の持ち味は、余分な力の抜けた、柔軟で伸びのあるフォーム。まるでイルカが自由に水中を行くような、しなやかな泳ぎのセンスはシンクロで培われたものようです。

今年8月には韓国・済州島での国際選手権

に出場し、イマージョン100mで日本記録を更新。9月のエジプト大会では初挑戦のロングディスタンス6kmを1時間30分0秒06で完泳。日本選手中トップで、ロングでも今後に期待が膨らむ結果となりました。

## 好きな科目は社会、苦手は英語

目白学園へは高校から入学した青木さん。教室では、ちょっと控えめな普通の女の子です。身長156cmの制服姿からはユース最高速度泳ぐ様は想像できません。

「英語は、これから頑張ります。国際大会で外国の選手と話をしたとき、もっと英語が話せたらいいな、と思ったからです。

社会は歴史が好きです。エジプト大会に参加した時にはイタリアで少しだけ観光することができて、外国の文化や政治にも興味をもつようになりました」

## 夢は北京オリンピックへ

来年、青木さんは18歳以上のシニアクラスの仲間入りです。「シニアでもジャパンチームに入れるように頑張りたい」と、目を輝かせます。『フィンスイミングはフィンの使いこなしが重要なポイントになるので、経験がものをいうスポーツと言われています。競泳よりも選手生命が長く、経験を重ねるほど強くなれるのです。質の高い練習を心がけて、いつまでも、記録への挑戦を続けていきたいです』

フィンスイミングは、2008年の北京大会からオリンピック種目に認定される見込みで、オリンピック出場への夢も膨らみます。

輝く目白の星

イルカのように  
もっと速く、  
もっとしなやかに泳ぎたい

フィンスイミングで世界大会出場  
高校2年 青木美子さん